

# 気っ風の良さど心意気に惚れる 待ってました! 女性初の真打ち



三代目三遊亭圓歌師匠との思い出のワンショット

■プロフィール  
東京都荒川区生まれ。1981年9月に國學院大学経済学部を中退し、三代目三遊亭圓歌に入門。前座名は「歌代(うたよ)」。1987年5月、二つ目に昇進し「歌る多(かるた)」と改名する。1993年3月、落語協会初の女性真打ちに昇進。2010年7月、落語協会の理事に就任する。得意な演目は「宗論」「西行」など。DVD古典落語お稽古つけ「饅頭こわい」発売中。スケジュールなどを掲載したホームページ「倶楽部50' 歌る多の小屋」 <http://green.ap.teacup.com/karuta/>



さんゆうてい  
かるた  
三遊亭 歌る多さん

落語家  
一般社団法人落語協会理事

# 第246回 荒川の人

江戸時代から伝承され、人々に愛されてきた話芸、落語。本紙でもこれまで荒川にご縁のある落語家さんに数多く話を伺ってまいりました。今回は落語400年の歴史でも特筆すべき初の女性真打ちとなった、荒川区出身の三遊亭歌る多師匠にご登場いただきました。幼い頃の思い出や修業時代のエピソードなど、まるで落語に出てくる江戸っ子さながらに気っ風の良さ、歌る多師匠(以下、歌る多さん)の語り口をイメージしながらお読みいただければ幸いです。

## 東京漫才発祥の地に ほど近い南千住の生まれ

「生まれたのは南千住、二端(区立第二瑞光小学校)のそば。若葉幼稚園から三端(区立第三瑞光小学校)に通って、小学校2年生まで住んでいました。家は製甲業(木型にあわせて、革靴のアップパー部分をつくる)で、母の弟が靴職人の修業にきていました。子どもの頃の思い出で懐かしいのは、素盞雄(すさのお)神社のお祭りに良く行ったこと。そうだ、文化フライって知ってます? 貝もなにも入ってない小判型のフライにソースをかけたもので、お祭りの屋台で初めて食べましたね」

歌る多さんが食べたという文化フライは、昭和30年代に考案された、練った小麦粉にパン粉をつけて揚げただけの縁日のジャンクフード。東京でも一部の町っ子しか知らない、今や幻の昭和の味だそう。 「家の近所に、金物あらもの看板が出てくる栗本商店ってお店があって、そこが昔は『栗友亭』っていい良い寄席だったと聞いたんです。当時は意味も分からなかったけど、妙に覚えていて。今になってみると、その頃からこの世界に縁があったのかなって思います」

どもここで腕を磨いたそうですが、経営難により昭和34年に閉館。現在では「東京漫才発祥の地 栗友亭跡」の案内板が設置されています。

## たまたま行った落語会で 人生が変わった

落語に出会ったのは高校2年生。それまでは興味もなく、聞いたこともなかったそうです。たまたまご近所の方に招待券をもらって出かけた銀座・博品館の落語会が運命の分かれ道となったのです。

「母と一緒に聞きに行ったのが、落語評論家の山本益博先生が企画した落語会で、故・立川談志師匠と春風亭小朝師匠が1つの噺を2人でおやりになったのを聞いて、えらく感銘を受けて、落語の世界に引き込まれたんです。そこから落語を良く聞くようになって、大学に進学したんですが、落語をやりたいという気持ちを押さえられないくらい熱くなりまして、若気の至りですね」

当時、テレビで見て、女性漫談師の弟子がいると知った、三代目三遊亭圓歌師匠の門戸を叩きます。

「大学1年の夏休み、入門のお願いに行きました。そしたら、親御さんの許可をもらっておいでと。これが断りの常套句なんです。親が許すわけないから。うちの親も少しやってみればあきらめると思ったらしく、母がお願いについて来てくれたのは良いんですが、師匠に向かって『うちの娘は本当は円楽さんが好きなんだ』って。母としては師匠に言ったら、自分が円楽さんのファンだっただけで嫌われるだろうくらいで言ったんでしょう。でも、師匠は江戸っ子で「上等じゃあねえか」って、弟子に取ってつけた(笑)。たぶんひと月も続かないと思ったんですよね」。

いつまでも変わらない  
謙虚な姿勢と温かいまなざし  
落語の世界は男社会。飛びこんで

みたものの、いろいろと苦勞をされたはず。ところが、大変だったことは?と聞いてみると「周りの方が大変だったでしょうね」と、サラリと答える歌る多さん。楽屋でも、変にコソコソしてはいけないと、柄物のタンクトップとトランクスを身に付けて堂々と着替えをしたら、「女の着替えはちらっと見えるから色っぽいな、もっとコソッとやってくれよ、なんて言われましたよ」と明るく笑いもついでにきます。

見習い、前座、二つ目と夢中で修業を続け、1993年、落語協会はじめて以来の、女性真打ちが誕生します。襲名披露では、都内の寄席全部をまわって披露興行が行われました。

「もし『栗友亭』があったら、お披露目で南千住にいられたんですがね。女の断家だから若いうちにして推していたら、真打ちになったのは良いけど、肩書に自分の芸が追いついていないギャップは、ずっとありました。いえ、今だって真打ちって思っていないですよ。自分の芸に自信なんか持ったことないですから」

真打ちになってもう25年になろうというのに、歌る多さんの姿勢は驚くほど謙虚です。

「師匠選びも芸のうち、といいますが、うちの師匠はユークで、やさしくて、私にとって神様ですね。何のつてもなく訪ねてきた子を弟子にして、可愛がって育ててくれたんです。私が師匠に道を聞いてもらったように、やはり順繰りに恩返しをしながら、と思っています。私の弟子は今、3人いますが、二つ目になってほしいです。私の時は許さなかつた結婚もできればしてほしいです。また、協会の理事を拝命したので、男でも女でも気持ち良く高座が務められるよう、尽力していく年回りなのかなと思っています」

取材日:平成28年12月28日

## ACC 友の会入会のご案内

**特典**

- 公演チケットが割引で購入できます (ACCの全ての公演チケットが原則1割引き)
- 人気の公演チケットを一般販売に先立って購入できます (ご希望の席を早めにゲット!)
- 会員だけのお得情報が届きます (先行販売やチケットプレゼント等の情報満載の「友の会通信」)

**会費**

口座会員1,300円/年  
※年間2枚以上のチケット購入で、年会費以上の割引になることも!  
現金会員1,500円/年

**便利な特典**

- 電話で予約したチケットを自宅へ郵送! しかも送料無料 (口座引き落としの手続き完了後からとなります) ※窓口でチケットを買いに行く手間が省けます。忙しい方におすすめ!
- 毎年の窓口での更新手続きが不要! ※窓口に行く必要がなく、更新のし忘れもありません!

会員になると  
**お得な特典**が  
いっぱい!

●入会条件: どなたでもご入会いただけます。●会費: 年会費(口座会員1,300円/現金会員1,500円) ●会期: 入会した日から、翌年同月の末日まで ●会員種別①現金会員: 年会費やチケット代金を現金でお支払い②口座振替会員: 年会費、チケット代金をご指定の口座より引き落とし(振替手数料は無料) ●入会方法: 入会申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費を添えてお申込みください。(受付窓口)町屋文化センター

期間: ついに3月31日まで!!

**とらふぐ フルコース**

福寿 7,000円(税込7,560円)  
7,000円(税込7,560円)  
8,500円(税込9,180円)

期間: 2月21日(火)、22日(水)、23日(木)

先付、しゃぶしゃぶ(肉・野菜盛)、きしめん、餅、御飯、香の物、デザート

【国産牛ロース肉】1,800円(税込1,944円)  
【和牛霜降肉】2,500円(税込2,700円)  
【和牛特選霜降肉】3,500円(税込3,780円)

歓迎迎会ご予約承り中!

※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

**木曾路南千住店**

荒川区南千住 5-6-15

電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限りです。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- H29年2月28日まで有効(祭り期間除く)
- 木曾路南千住店のみ有効